

Ⅰ. 職業理解				
【番号】		【講義内容】		
N-1 	講義名	在宅における看護とはー最期まで自分らしく暮らすためにー		
	目的	在宅において療養している人々への訪問看護師の活動を理解しましょう。		
	概要	人々が在宅において最期まで自分らしく暮らすために、地域で活躍している訪問看護師の活動内容や活動の場について説明します。		
	担当	教授 齋藤 基 【専門】 地域・在宅看護学	形式	講義
N-2 	講義名	助産師の仕事ー助産師になりたい！助産師になるにはどうしたらいいの？ー		
	目的	1. 助産師の仕事について知る 2. 助産師になるためのプロセスを知る 3. 大学での助産師課程の学修内容を知る		
	概要	「助産師とは」「助産師の活躍する場」「助産師になるための方法」「助産師学生の学生生活」「助産師学生はどんな勉強をするのか」「助産師になるために、今からやっておくと良いこと」を説明します。また、助産師課程の模擬授業を通して、実際の授業を体験しましょう。		
	担当	教授 中島 久美子 【専門】 母性看護学、助産学	形式	講義、体験
N-3 	講義名	保健師の仕事とは・・・		
	目的	看護職には、看護師の他に保健師、助産師の職があります。広くすべての皆さんの健康管理を担う保健師の地域での役割について学びます。		
	概要	健康であることの意味や権利について学び、自身や家族の今の健康について振り返ってみましょう。また、その時々々の健康に関する話題について触れ、一緒に考えて行きます。		
	担当	教授 奥野 みどり 【専門】 公衆衛生看護学	形式	講義、グループワーク
N-4 	講義名	チーム医療における看護職の役割		
	目的	さまざまな医療現場におけるチーム医療と看護職が担っている役割について学びましょう。		
	概要	チーム医療とは、多種の医療専門職が連携し合って、治療や支援を行っていくことです。病院では、「栄養サポートチーム」や「緩和ケアチーム」など専門性に富んだチームが活躍しています。どのような活動をしているのか、具体例を挙げて紹介します。		
	担当	准教授 堀越 政孝 【専門】 成人看護学	形式	講義
N-5 	講義名	チーム医療で看護師に期待される役割と活躍の実際		
	目的	最も近いところで直接的に患者さんやご家族に関わる看護師が「チーム医療」で担う役割と、さらなる専門的な資格について学びます。		
	概要	病院では、患者さんに対して様々な専門職が連携し、チームで治療・ケアにあたります。その中で看護師がどのような役割を担っているのか、また看護師としてより専門的で高度なケアをするためにどのような資格があるのか、実際の現場の様子をあげながら説明します。		
	担当	准教授 関 妙子 【専門】 老年看護学	形式	講義、体験
N-6 	講義名	看護って何？看護師になるためにどんな勉強をするの？		
	目的	1. 看護とは何か知ることができる 2. 看護師になるためのプロセスを知ることができる		
	概要	「看護とは」「看護師の活躍する場」「看護師になるための方法」「看護学生の学生生活」「どんな勉強をするのか」「看護学科を受験するにあたりやっておくと良いこと」を説明します。また、模擬授業を通して、実際の授業を体験しましょう。		
	担当	准教授 金子 吉美 【専門】 成人看護学	形式	講義、体験
N-7 	講義名	看護師になるための学校選び		
	目的	看護師になるための学校選択の目的・方法を理解しましょう。		
	概要	看護師になるには、さまざまな課程があります。課程の違いや、学校を選択するときに参考となる視点をわかりやすく説明します。		
	担当	准教授 萩原 一美 【専門】 基礎看護学	形式	講義

N-8 	講義名	看護学生の生活って？		
	目的	看護学生の4年間を知ることで、看護学生生活のイメージをつくりましょう。		
	概要	看護学生生活は忙しく厳しいというのが一般的な常識ですが、どこがどのように厳しいといわれる所以なのかを知ってもらうことで、看護師という職業に就こうとする方の職業観の形成を図ります。		
	担当	准教授 萩原 一美 【専門】 基礎看護学	形式	講義
N-9 	講義名	看護師になってからのキャリア形成と認定制度		
	目的	看護師になってからの、自らのキャリア形成を考えるきっかけをつくりましょう。		
	概要	医療の現場は日々進歩しています。その中で、看護職も社会からのニーズを受け生涯学習を必要とします。看護師・助産師・保健師となる道以外に、看護管理者・看護教員・認定看護師・専門看護師、特定行為の看護師など、看護師のキャリア形成を紹介します。		
	担当	准教授 萩原 一美 【専門】 基礎看護学	形式	講義
N-10 	講義名	みんなで支える在宅療養 ～チームケアの重要性～		
	目的	在宅療養に関わる専門職について、それぞれの役割を学びましょう。		
	概要	在宅療養者が住み慣れた地域やご自宅で療養生活をしながら、その人らしく安心して生活できるよう、たくさんの専門職が関わっています。それぞれの専門職がどんな役割を担っているのか、事例を挙げながら紹介します。		
	担当	講師 反町 真由 【専門】 在宅看護学	形式	講義
N-11 	講義名	人工呼吸器を装着して、病院から自宅へ帰る患者さんへの支援について		
	目的	病院と地域の支援者との連携を担う看護職の役割について理解し、医療依存度の高い患者でも自宅で生活ができることを知りましょう。		
	概要	難病の患者さんの中には、自力で呼吸ができなくなる方もいらっしゃいます。人工呼吸器を着けて生きていくことを選択した患者さんには、子どもの成長が見たい、家族と一緒に生活を続けたいなど、様々な思いがあります。そんな思いに寄り添って、病院や地域の支援者が一つのチームになって患者さんや家族を支えている様子を紹介します。		
	担当	講師 川尻 洋美 【専門】 公衆衛生看護学	形式	講義
N-12 	講義名	看護師の仕事、認定看護師の役割とは		
	目的	人々の生活を支えることについて考えてみましょう。		
	概要	看護師がおこなう「療養上の世話」とはどのようなことか、看護活動を紹介しながら説明します。その中で、認定看護師の役割や活動の実際を紹介します。		
	担当	講師 村田 亜夕美 【専門】 基礎看護学	形式	講義
P-1 	講義名	超高齢社会を支えるリハビリテーションとチームアプローチ		
	目的	地域の高齢者を支えるリハビリテーション専門職と多職種チームの役割を考えましょう。		
	概要	年をとると心身の機能が衰えて、転びやすくなったり介護が必要になったりする方が増えてきます。その一方で、年をとると多くの人々との関わりなどから得られた人生の経験値が豊富になります。そうした方々がその人らしい暮らしを続けることを支えるために、リハビリテーションが果たす役割と、協働する関連他職種とのチームが果たす役割についてそれぞれお話しします。		
	担当	教授 佐藤 満 【専門】 地域理学療法学、リハビリテーション工学	形式	講義
P-2 	講義名	ビリビリ・リハビリ ―絶望を希望に変える理学療法学技術の開発―		
	目的	理学療法学は「治療医学でカバーできない人々の願いを叶えることを目指す技術を追求する」ということを理解しましょう。		
	概要	ある野球部の中学生がある日、突然倒れた。重い病に侵されていた彼の最後の望みを叶えるべく、若き理学療法士が挑戦したりリハビリテーションの技術の応用とはビリビリ、電気刺激を用いることであった。果たしてこの挑戦はどうなったのか？実話に基づく物語風の講義、実際の技術のデモンストレーションを通して、リハビリテーション科学・理学療法学の現状を理解し、この分野に興味を持って、挑戦する若者に真の理学療法学技術の開発の姿を伝えます。		
	担当	教授 木村 朗 【専門】 臨床身体活動学	形式	講義、デモンストレーション

P-3 リ	講義名	理学療法士ってどんな職業？		
	目的	理学療法士という職業を理解しましょう。		
	概要	理学療法士とはどのような仕事をしているのか、どのような職場で働いているのか、どのような人が理学療法士に向いているのか、理学療法士になるためにはどのようにすればいいのか、など理学療法士について学びます。		
	担当	教授 岡崎 大資 【専門】 物理療法学	形式	講義
O-1 リ	講義名	作業療法士の働きはSDGsに貢献する		
	目的	作業療法は持続可能な開発目標（SDGs 3）「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を増進する」ことを目指しています。そのため、人のこと、環境のこと、そして「人の活動＝作業」を評価し、治療計画を立てていきます。その働きをお話しします。		
	概要	作業療法は人々の健康と幸福を促進するために、働いています。その働きは、SDGs に貢献することができる、魅力的な仕事です。健康的な生活を確保するために、働くこと、学ぶこと、遊ぶこと、生きがいを見つけること、環境のサポートを受けることなどの意味を知っておくことは、すべての人に共通です。自らの生活を見直しながら、作業療法士の考え方を解説します。		
	担当	教授 村田 和香 【専門】 作業療法学	形式	講義、体験
S-1 リ	講義名	言語聴覚障害とその支援		
	目的	障害体験を通して言語聴覚障害への理解を深めます。		
	概要	さまざまな言語障害を言葉の鎖に位置付け、障害体験も含めて紹介します。支援の方法について具体的にお話しします。		
	担当	教授 齊藤 吉人 【専門】 言語聴覚療法	形式	講義、体験
S-2 リ	講義名	医療専門職にはどのような職種があるか？		
	目的	医療に関する各種国家資格について知りましょう。		
	概要	すべての学科で講義を行っている経験から、また卒業生の経験談をしばしば聞く経験から、医療関係の国家資格、特に本学で養成している各医療専門職の様子について詳しくお話しします。		
	担当	教授 浅見 知市郎 【専門】 解剖学	形式	講義
M-1 医	講義名	臨床検査技師ってどんな職種？		
	目的	臨床検査技師の業務、役割について学びましょう。		
	概要	主に病院などの医療現場で働く臨床検査技師の業務について、血液や尿を使って、どのような方法でそれらが検査されるのか、また直接患者さんに接して検査する心電図検査や手術で摘出された臓器をどのようにして検査するのかを示して、臨床検査技師の業務内容を理解していただきます。		
	担当	教授 亀子 光明 【専門】 病態生化学	形式	講義
M-2 医	講義名	チーム医療概論 ―チーム医療における各医療専門職の役割とは―		
	目的	チーム医療の中で活躍するさまざまな医療専門職の役割を学びましょう。		
	概要	医療はさまざまな医療専門職の連携によって支えられています。本講義は、チーム医療の中で各医療専門職がどのような役割を果たしているのかを学び、将来の進路選択に役立ててもらおう内容となっています。		
	担当	准教授 高橋 克典 【専門】 病態免疫化学検査学	形式	講義
M-3 医	講義名	生理機能検査を担う臨床検査技師の役割		
	目的	生理機能検査の概要を理解し、業務内容や患者さんと接しながら検査を行うことの楽しさ、魅力について学びましょう。		
	概要	「臨床検査とは何か」をイメージすると、多くの方々が「採取された血液や尿を用いて分析する」と想像すると思いますが、心電図や超音波、脳波や呼吸機能検査などに代表される生理機能検査も、臨床検査技師の業務です。生理機能検査とは何か、また患者さんにご協力いただきながら検査を行う楽しさややりがいについてお話しします。		
	担当	講師 澤田 裕也 【専門】 生理機能検査学	形式	講義
R-1 医	講義名	原発事故で果たした診療放射線技師の役割		
	目的	福島原発事故において診療放射線技師は放射線の専門家として多くの役割を果たしました。その役割を学びましょう。		
	概要	放射線の専門家として診療放射線技師が行った放射能汚染の有無を確認するための検査の実施、TVやラジオでの放射線影響等についての解説、および避難所のレイアウトのアドバイス等を紹介します。これらの講義の中で放射線の安全と非安全について学ぶとともに、診療放射線技師の持つ知識と技術や社会貢献について学びます。		
	担当	教授 渡邊 浩 【専門】 核医学、放射線防護	形式	講義

R-2 	講義名	法律とどう関わるべきかを学びましょう		
	目的	日本は法治国家である以上、社会人として法律を知ることの大切さや社会人としての法律との関わり方、ひいては診療放射線技師や医療専門職の仕事や役割を学ぶ機会とすることが目的です。		
	概要	まず、法律の仕組みや診療放射線技師が国家資格者としてどのような法律を遵守して仕事をしているかを講義します。次に、放射線が医療に有効かつ安全に利用できるように診療放射線技師や医師が法律や社会ルール作りにもどのように貢献しているかを講義します。その後に社会人としてどのように法律に関わっていくかを、身近な問題を取り上げて受講者同士で意見交換を行っていただきます。受講者はこの過程を経て法律とは何か、どのように係わるのか、あるいは係わるべきなのかを学んでいきます。また、この講義を通じて診療放射線技師や医療専門職の仕事の内容や役割も学ぶこともできます。		
	担当	教授 渡邊 浩 【専門】 核医学、放射線防護	形式	前半：講義、後半：グループワーク
R-3 	講義名	CT・MRIって？ ―診療放射線技師の活躍の場―		
	目的	1. 診療放射線技師の仕事について知る 2. 画像検査について知る。		
	概要	CT、MRI、よく聞く言葉ですが、実際どのように行い、どんな画像が出て、どのように患者さんの診療に役立っているか、この分野を担う「診療放射線技師」の仕事内容・実際の画像を紹介します。		
	担当	准教授 茂木 俊一 【専門】 CT,MRI等画像診断部門	形式	講義
R-4 	講義名	診療放射線技師という選択肢を考えているあなたへ		
	目的	診療放射線技師の仕事、大学で学ぶ内容を説明します。理解して、今後の進路や職業の一案にしてください。		
	概要	医療系職業の一つ、診療放射線技師。胸腹部や骨撮影の他にも多くの放射線業務があります。患者さんと接する機会の多いこの職業で働くことのイメージを持っていただき、4年間をどう過ごすのか具体的にアドバイスします。		
	担当	准教授 渡邊 城大 【専門】 X線・救急撮影技術学	形式	講義
R-5 	講義名	がん治療の中の放射線		
	目的	がん治療における放射線の役割を理解し、がんについて学びましょう。		
	概要	2人に1人ががんに罹患し、3人に1人ががんで命を落とすといわれています。がん治療の基本は手術、抗がん剤、放射線が主に用いられています。このがん治療3本柱の一つである放射線治療について解説し、そこで働くいろいろな職業についても紹介します。		
	担当	講師 星野 洋満 【専門】 医用画像情報学	形式	講義
R-6 	講義名	医療画像処理の最前線		
	目的	最新医療画像処理の魅力を伝え、医療技術分野への関心を高めることが目的です。		
	概要	本講義では、医療画像処理の基本原理や最新の進展をわかりやすく紹介します。CT・MRI・超音波などの医療画像データを解析・処理する技術が、診断精度向上や病気の早期発見に役立つことを解説します。また、AIや深層学習を活用した画像処理技術が、医師の判断をサポートし、より正確な診断や治療計画立案につながる事例を紹介します。参加者は医療画像処理の魅力を理解し、将来の医療技術分野への進学や就職の選択肢に関心をもつきっかけになります。		
	担当	講師 土田 拓治 【専門】 医療画像情報学、画像工学	形式	講義
C-1 	講義名	チーム医療と医療安全 ―チーム医療における臨床工学技士の役割―		
	目的	1.チーム医療とは 2.医療安全とは 3.医療現場で活動している主なチーム 4.チーム医療に関わる職種 5.チーム医療における臨床工学技士の役割 6.チーム医療の実践と医療安全確保のために大切なこと		
	概要	患者さんへ安心・安全で最良の医療を提供するために欠かせないチーム医療において、医療機器の操作や管理を行う臨床工学技士がどのような役割を担っているのか、事例を挙げてわかりやすく解説します。		
	担当	教授 大瀧 和也 【専門】 生体医工学、生体機能代行技術学	形式	講義
C-2 	講義名	感染症（新型コロナウイルス感染症など）におけるチーム医療の重要性		
	目的	感染症の検査診断・治療におけるチーム医療の重要性について学びましょう。		
	概要	新型コロナウイルス感染症を例にとり、特に感染症の検査診断と多職種連携の重要性についてわかりやすく概説します。		
	担当	教授 木村 博一 【専門】 微生物学、感染症学、生体防御学	形式	講義
C-3 	講義名	命を支える技術で未来をつくる―臨床工学技士の仕事―		
	目的	臨床工学技士の仕事への理解を深めましょう。		
	概要	人の命を守る最前線の医療現場には臨床工学技士という「技術と医療をつなぐスペシャリスト」が活躍しています。この講義では、臨床工学技士がどのような仕事や役割を担っているのか、そして臨床工学技士になるための方法を解説します。		
	担当	准教授 近土 真由美 【専門】 生体機能代行技術学	形式	講義

C-4 医	講義名	大学で学ぶ医療専門職の紹介－臨床工学技士について－		
	目的	臨床工学技士の業務内容、医工学に関する研究について紹介します。		
	概要	大学で学ぶことができる医療専門職を紹介します。特に、臨床工学技士が行う実際の業務内容や大学で行うことができる研究テーマなどを紹介します。		
	担当	講師 島崎 直也 【専門】 血液浄化療法装置学	形式	講義
C-5 医	講義名	生命維持管理装置を操るスペシャリスト臨床工学技士とは		
	目的	臨床工学技士が病院でどんな仕事をしているのか学びましょう。		
	概要	今、注目を集めている臨床工学技士の業務について、病院で何ができるのか、どんな役割があるのか具体的に解説します。また、臨床工学技士の未来展望と世界を見据えた臨床工学技士についても解説します。		
	担当	講師 齋藤 慎 【専門】 生体機能代行技術学	形式	講義
C-6 医	講義名	血液透析治療における臨床工学技士の役割		
	目的	血液透析業務における臨床工学技士について紹介します。		
	概要	腎臓の構造や機能、そして機能不全に陥ったときに必要となる透析治療について紹介します。		
	担当	講師 西村 裕介 【専門】 血液浄化療法、再生医療、組織工学	形式	講義
C-7 医	講義名	安全・安心な医療を提供するために頑張る臨床工学技士		
	目的	安全で安心な医療を提供するために頑張っている臨床工学技士という職業を理解しましょう。		
	概要	医療を受けるにはリスクは多少なりともあります。特に高度医療になるとリスクも高くなってきます。しかしながら、患者さん、ひとりひとりの安全で安心な医療を提供するために頑張っている臨床工学技士がいます。彼らの頑張りを紹介しながら臨床工学技士の職業を理解してもらいたいです。		
	担当	講師 宮川 浩之 【専門】 医療安全工学、血液浄化療法	形式	講義
K-1 教	講義名	医療専門職になるには（多職種連携とチーム医療）		
	目的	医療専門職の専門性とチーム医療連携について学びましょう。		
	概要	医療専門職を担う国家資格には、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など、さまざまな専門資格があり、高度な専門性と医療情報連携によって、患者さんを中心としたチーム医療のなかで活躍しています。これらの国家資格の特長と違いについて、医療専門職が連携と共働で行うチーム医療、医療情報連携の観点から解説します。		
	担当	教授 星野 修平 【専門】 データサイエンス	形式	講義
K-2 教	講義名	メディアで学ぶ医療専門職		
	目的	メディアで描かれる医療専門職から、いろいろな医療専門職を理解しましょう。		
	概要	近年、医療専門職を主人公としたメディア（小説、マンガ、映画、テレビドラマなど）がたくさん公開されています。これらのメディアに描かれるエピソードは、医療専門職が実際に経験する業務に沿った物語として描かれ、医療専門職の実際の状況（感情や感動、やり甲斐など）を把握するのに最適です。メディアを通して描かれる医療専門職を知り、それぞれの医療専門職の専門性とチーム医療連携について学びましょう。		
	担当	教授 星野 修平 【専門】 データサイエンス	形式	講義

Ⅱ. 大学での学び

【番号】		【講義内容】		
N-13 看	講義名	10代の性の話		
	目的	高校生の性に関する悩みに答える正確な情報を提供します。		
	概要	月経、妊娠、避妊、性感染症などに関することは、高校生にとって身近で重大な悩みの種です。これらのことに対して正しい知識を持ち、かけがえのない10代の時期を充実したものにしましょう。		
	担当	教授 矢島 正栄 【専門】 公衆衛生看護学	形式	講義
N-14 看	講義名	自分のカラダは自分で守る 一健康で明るい未来のために一		
	目的	自らの健康に目を向け、健康で明るく、充実した毎日を送るための知識を得ましょう。		
	概要	食生活、運動、睡眠、喫煙など、生活習慣に関連する健康問題と、その対策について説明します。また学童期や思春期、働き盛り世代や更年期、老年期等、ライフステージに応じた健康づくりを提案します。		
	担当	教授 小林 亜由美 【専門】 公衆衛生看護学	形式	講義
N-15 看	講義名	母乳育児に関する学び入門		
	目的	高校生になりました。そろそろ母乳育児（母子の愛着形成・免疫・経済的側面等でのメリット等）について知り、母乳育児の大切さを学びましょう。		
	概要	みなさんは母乳、ミルク、混合などの栄養法で育ちましたか？ 母乳育児（母子の愛着形成・免疫・経済的側面など）について一緒に考えてみましょう。また、在留外国人の母乳育児支援についても紹介します。		
	担当	教授 早川 有子 【専門】 母性看護学、助産学	形式	講義、グループワーク
N-16 看	講義名	思春期における心身の健康について		
	目的	思春期における自身の健康課題に気づき、マンダラード（目標達成シート）をもとにして、より充実した日常生活を過ごせるよう考えてみましょう。		
	概要	思春期における心身の健康状態、疾病傾向等の特徴について紹介します。現在の自身の心身の健康課題に気づき、将来の進路や夢を実現すべく、マンダラード（目標達成シート）をもとに心身共により充実した日常生活が過ごせるよう考えていきます。		
	担当	教授 中下 富子 【専門】 小児看護学	形式	講義、演習
N-17 看	講義名	無意識に「こころ」を守る仕組み		
	目的	人には“「こころ」を守るために無意識に働く仕組み”があります。この講義では、その仕組みについて考えてみます。		
	概要	一般的に「偏見」は持つてはいけないもの、取り扱いにくいものとされています。しかし、実は自分の「こころ」を守るために必要なものなのです。講義では「偏見」というキーワードから無意識に「こころ」を守るために働く仕組みを説明していきます。そして、「死」を受け入れざるを得ない状況にある人の「こころのプロセス」と「各段階で無意識に働く仕組み」にまで発展していきます。最後に患者さんにとって必要な「こころのケア」とは「何か」を一緒に考えてみたいと思います。		
	担当	教授 西川 薫 【専門】 精神看護学	形式	講義、グループワーク
N-18 看	講義名	乳がんのことをもっと知ろう！		
	目的	1. 乳がんとはどのような病気なのか説明することができる。 2. 乳がんを早期発見するための方法を実施することができる。 3. 乳がん患者の体験を通して看護師の役割を述べるすることができる。		
	概要	乳がん罹患する女性は年々増加しています。乳がんとはいったいどんな病気なのでしょう？乳がん診断された方々はどのような体験をしているのでしょうか？本講義では、みなさんに是非知っておいて欲しい、乳がんの正しい基礎知識、早期発見のコツについて、体験も交えて解説します。また、乳がん診断された方々の体験を通して、看護師の役割とは何かを一緒に考えてみましょう。		
	担当	教授 萩原 英子 【専門】 成人看護学	形式	講義、体験
N-19 看	講義名	がんについて学ぼう！		
	目的	がんに関する正しい知識を学び、がんと共に生きる人々について理解を深めましょう。		
	概要	がんは日本人の死因の第1位であり、2人に1人は生涯で何らかのがんに罹患すると推計されています。がんとは何か、がんの予防と治療、そしてがん患者の思いを学び、がん患者とその家族を支える社会をつくるために私たちにはどんなことができるのか、一緒に考えましょう。		
	担当	教授 萩原 英子 【専門】 成人看護学	形式	講義、グループワーク

N-20 看	講義名	妊娠中からの子育て支援　－あなたが将来、子どもを妊娠したら？－		
	目的	妊娠中からの胎児と母親との絆（きずな）をはぐくむ子育て支援、子ども虐待予防について学びましょう。また、赤ちゃん人形の育児体験を通して、育児の大変さを体験し、親の気持ちについて理解しましょう。		
	概要	1. 子ども虐待の実態と妊娠中からの早期発見・早期ケアについて学びます。 2. 赤ちゃん人形の育児体験を通して、育児の大変さや親の気持ちを理解します。 3. 将来、子どもを妊娠したら？体験を通しての考えをグループ・ディスカッションします。		
	担当	教授 中島 久美子　【専門】 母性看護学、助産学	形式	講義、グループワーク、DVD
N-21 看	講義名	若者の健康支援　－プレコンってなあに？－		
	目的	1. 若い男女が健康になって輝き続けるためにプレコンセプションケアを理解し、セルフケアを取り入れてみましょう。 2. 親になるための様々な問題を理解し、良好なパートナーシップを育むための取り組みを学びましょう。		
	概要	1. プレコンセプションケアの基本的知識を学びます。さらに、日常生活を整えるケアについて健康行動の変容のためのワークシートを作成し、グループディスカッションします。 2. 現代の親になることの様々な問題について学びます。そのうえで産後クライシスを予防するための支援について学びます。		
	担当	教授 中島 久美子　【専門】 母性看護学、助産学	形式	講義、グループワーク
N-22 看	講義名	消化と吸収のしくみを学ぼう　－看護の知恵袋－		
	目的	消化管の機能と生理を理解し、消化と吸収について学びましょう。		
	概要	消化と吸収は、私たちが生きていく上で欠かせないプロセスです。消化吸収の仕組みを知り、その機能を促進するための工夫ができれば、もっと楽しく食事ができます。そして、病気を予防することにもつながります。ちょっとした豆知識を添えて看護の視点も紹介します。		
	担当	准教授 堀越 政孝　【専門】 成人看護学	形式	講義、体験
N-23 看	講義名	看護を学ぶ学校で学ぶこと		
	目的	看護系の大学や専門学校で学ぶ内容を基礎看護技術の一つを例に挙げ、参加型授業で学びましょう。		
	概要	基礎看護技術の「体温測定」「脈拍測定」の測定部位と人体の構造と機能と結び付けて、ミニ模擬授業として学びましょう。		
	担当	准教授 萩原 一美　【専門】 基礎看護学	形式	講義、体験（体温計とストップウォッチ）
N-24 看	講義名	近代看護の祖　フローレンス・ナイチンゲールを知っていますか？		
	目的	看護理論の源流といわれる看護理論とその背景を学び、看護を理解しましょう。		
	概要	ナイチンゲールの活動と功績について歴史を紐解きながら解説します。 また、ナイチンゲールの著書から、看護とはどのようなものであるかを考察していきます。		
	担当	准教授 堀込 由紀　【専門】 基礎看護学	形式	講義
N-25 看	講義名	わが身を守る感染予防技術－ナイチンゲールの衛生学に学ぶ－		
	目的	感染制御の母といわれるフローレンス・ナイチンゲールの功績を知り、現代の感染予防行動を学びましょう。		
	概要	感染予防におけるナイチンゲールの功績を紐解き、看護技術として修得する標準予防策（スタンダードプリコーション）について、体験を通して学びましょう。実際には、ディスポーザブル手袋の着脱を学習します。		
	担当	准教授 千葉 今日子　【専門】 基礎看護学	形式	講義、体験
N-26 看	講義名	お隣は外国人　－増加する在留外国人とどのようにして一緒に暮らしていくか－		
	目的	国内で増加している在留外国人について正しい理解を持ち、共存していけるようにしましょう。		
	概要	いま日本にはさまざまな理由で暮らしている外国人がいます。そして彼らの持つ文化は、日本の文化と違う部分もあります。文化の違いは習慣や考え方の違いにもつながります。そんな彼らとこれから一緒に日本で暮らしていくにはどうしたらいいのか。在留外国人と文化について一緒に考えましょう。		
	担当	講師 長嶺 めぐみ　【専門】 国際看護学、基礎看護学	形式	講義、グループワーク
N-27 看	講義名	高齢者の体や心の変化について-看護する時に大切なこと-		
	目的	高齢者の体や心の変化を知り、高齢者と関わる時のポイントを学びましょう。		
	概要	高齢者は加齢によって、少しずつ体や心が変化していきます。体や心の変化を知り、高齢者と関わる時、看護としてどんな事に意識すると良いか一緒に考えてみましょう。		
	担当	講師 東泉 貴子　【専門】 老年看護学	形式	講義、体験

N-28 看	講義名	病気をもつ子どもと家族の支援		
	目的	病気をもつ子どもと家族の支援について学びましょう。		
	概要	核家族・共働き家庭が増加している一方で、入院期間の短縮化や小児病棟の閉鎖などにより、病気をもつ子どもや家族にとって負担が大きくなってきています。そこで、病気をもつ子どもと家族を支援するためにはどのようなことができるのか、一緒に考えましょう。		
	担当	講師 高野 直美 【専門】 小児看護学	形式	講義
N-29 看	講義名	「いい感じの自分」でいられる自分自身の取り扱い説明書		
	目的	「WRAP」（元気回復行動プラン）について学び、「いい感じの自分」でいられる自分自身の取り扱い説明書を作ってみましょう。		
	概要	「いい感じの自分」でいられる自分自身の取り扱い説明書である「WRAP」を紹介します。「WRAP」とは、日本語で、元気回復行動プランと訳されます。元気でいるために、気分がすぐれないときに元気になるために、自分で責任を持って生活の主導権を握って自ら望むような人生を送るためのプランを一緒に考えていきましょう。		
	担当	講師 佐藤 和也 【専門】 精神看護学	形式	講義、体験
P-4 U	講義名	アニメの主人公はなぜ4本の指を振るのか？という謎を解こう		
	目的	50年前のアニメの主人公が空を飛びながら手を振っているシーンを止めてみるとなんと指が4本に見えます。ところが、アニメでみると5本に見えるのです。この謎は人間が動きを観察する際に脳で生じるのです。このような錯動現象の存在を自分自身で確かめ、知るのがこの講義の目的です。		
	概要	アニメーションは1秒24コマ程度の静止画像をすこしずつ動かして、あたかも動いているように見せる手法です。人間の動きをこのルール通り、5本指を描いて手を振る動きを作ると、なんと不思議に6本に見えるのです。したがって、実際にアニメでは手を振るシーンでは4本指を描くことになっています。この手法こそ人間が運動や動作を観察して正確に動きを記述するという行為にとって厄介な人間特性を利用していることを実感して、その仕組みを考えてみましょう。運動練習にプラスになることで		
	担当	教授 木村 朗 【専門】 身体活動学	形式	講義、体験
P-5 U	講義名	健康の寿命に関わる人の動き方を科学する		
	目的	人が健康でいられる時間（健康寿命）と身体活動という人間の動きの特徴を人工知能を用いて可視化する研究のあらましを紹介します。		
	概要	人が健康でいられる時間（健康寿命）の予測を行うために役立つと考えられる人間の動きの特徴を明らかにする研究を紹介します。その中で、人工知能を用いて人が動いていることを情報化して、可視化する研究の一端を、実際に人の動きを撮影し、速やかに人体モデルを可視化して、アバターを作成するプロセスを体験することで先端の研究に触れる機会を提供します。		
	担当	教授 木村 朗 【専門】 公衆衛生学、理学療法学	形式	講義、体験
P-6 U	講義名	なぜ全身有酸素運動療法は糖尿病に効くのか？		
	目的	薬を凌ぐ作用を運動で薬のように用いる治療方法が心臓病や糖尿病の運動療法です。この治療の基本となる運動の強さの違いがなぜ治療効果をもたらすのか、そのメカニズムを理解しましょう。		
	概要	薬ではせいぜい安静時の1.5倍くらいの生体内の血流増加しかもたらしることができないことから、それ以上の血流増加を得るために運動を薬のように用いる治療方法が心臓病や糖尿病の運動療法です。この治療技術の基本となるメカニズムを実際に運動の経験と併せて学修します。		
	担当	教授 木村 朗 【専門】 理学療法学	形式	講義、体験
P-7 U	講義名	いやな肩こりを何とかしよう		
	目的	誰もが経験する肩こりを通して正しい姿勢の重要性を知りましょう。		
	概要	肩こりをおこす原因、そのメカニズムを簡単に解説し、その予防法および自分でできるストレッチ体操を紹介します。		
	担当	教授 鈴木 学 【専門】 神経系理学療法、評価治療学	形式	講義、体験
P-8 U	講義名	いやな腰痛を何とかしよう		
	目的	老いも若きも経験する腰痛のメカニズムと治療法を会得しましょう。		
	概要	“いやなシリーズ”第2弾です。腰痛を原因、そのメカニズムを誰でもわかるように簡単に解説し、その予防法および家庭でできる治療法を紹介します。		
	担当	教授 鈴木 学 【専門】 神経系理学療法、評価治療学	形式	講義、体験
P-9 U	講義名	自分で触ってわかる、骨と筋肉		
	目的	自分で触診して、自分の骨と筋肉を鑑別しましょう。		
	概要	自分の体を自分で触る事により、筋、骨、靱帯、腱、血管などがわかることを理解してもらいます。		
	担当	教授 目黒 力 【専門】 生活環境学	形式	講義（動きやすい服装）

P-10 	講義名	まちで暮らすためのリハビリテーション		
	目的	学校やまちなどからバリアフリーを考えてみましょう。		
	概要	大学の講義で行っている「まちめぐり」の資料から、まちにあるバリアや改善対策、理学療法士がどのように関わるのかを考えましょう。		
	担当	教授 目黒 力 【専門】 生活環境学	形式	講義
P-11 	講義名	こどもの発達と理学療法		
	目的	子どもを対象とした理学療法（運動発達支援）について知しましょう。また、その理解のため、基盤となる子どもの発達について知しましょう。		
	概要	主に乳児期から学童期の子どもの運動発達について概説します。また、それを基盤とした、子どもを対象とした理学療法（運動発達支援）について紹介します。		
	担当	教授 富田 浩 【専門】 理学療法学	形式	講義、体験
P-12 	講義名	脳卒中の基礎知識 一病態・症状・画像診断・治療についてー		
	目的	リハビリテーションの重要な対象疾患である脳卒中についての理解を深めましょう。		
	概要	脳卒中の病態、症状、画像診断、治療などの基本的な知識を説明します。		
	担当	教授 宗宮 真 【専門】 リハビリテーション医学	形式	講義
P-13 	講義名	「足は口ほどにものを言う」 足の働きを姿勢と動作の関連から実技を交え話します		
	目的	姿勢と運動における足の役割を理解しましょう。		
	概要	人の足は、身体を支える土台となり姿勢や運動を調節するはたらきを持っています。この身体全体の動きや関節のしくみや運動を学ぶ「運動学」の内容から、特に姿勢と足の働きについて分かりやすく概説します。 スポーツで怪我をした経験のある方は、自分の身体の特徴や動きに興味を持っていると思いますので、関連付けてお話しします。		
	担当	准教授 浅田 春美 【専門】 運動学、高齢者理学療法	形式	講義、体験
P-14 	講義名	最近話題の認知症予防を目的としたコグニサイズの紹介と実践		
	目的	認知症について正しく理解し、理学療法士の職業についても理解しましょう。		
	概要	コグニサイズは、認知課題と運動課題を組み合わせた最近話題のプログラムです。生涯健康に過ごせるよう体験を交えて紹介します。		
	担当	准教授 浅田 春美 【専門】 高齢者理学療法、運動学	形式	講義、体験
P-15 	講義名	スポーツ傷害と理学療法		
	目的	スポーツ傷害という分野から理学療法の定義を理解しましょう。		
	概要	スポーツ傷害と理学療法の関わり、ストレッチング、モビライゼーション、PNF、テーピングの実技を予定しています。		
	担当	講師 城下 貴司 【専門】 スポーツ科学	形式	講義、体験
P-16 	講義名	わたしたちのくらしを支える神経		
	目的	脳内には神経が作り出すさまざまな回路があり、我々の生活はその回路により成り立っていることを理解しましょう。		
	概要	神経細胞の構造について概説し、神経細胞で発生する活動電位発生機序、神経細胞同士の連絡(シナプス)について話します。また、感覚神経である求心性神経と運動神経である遠心性神経、それらが作り出す反射弓、さらに脊髄以上のレベルである大脳基底核や海馬における記憶の回路など、高次の神経回路について講義します。		
	担当	講師 洞口 貴弘 【専門】 認知神経科学	形式	講義
P-17 	講義名	まわりと自分を知るための手がかり ー感覚情報についてー		
	目的	外界の状況および自身の状況を知るために用いられる感覚情報について理解しましょう。		
	概要	自分の身体が今どういう状況にあるのか、また周囲の環境と自分との関係を知るために用いられる感覚情報について、その生理学的知識を簡単な遊びを交えて説明します。自分の身体の仕組みの不思議さや面白さについて知り、興味をもつきっかけづくりを目指します。		
	担当	講師 黒川 望 【専門】 神経生理学	形式	講義

P-18 リ	講義名	目で見えない筋肉の働き方を見える化する		
	目的	人の体の動きを作る筋肉の働き方、その意味を理解しましょう。		
	概要	さまざまな動きは、筋肉の働き（筋活動）によって作られます。目では見えない筋肉の活動を見える化する表面筋電図を使って、その性質を探る実技形式の講義を行います。同じスポーツでも、初心者とオリンピック選手ではどのように違うのか？運動がぎこちない、運動に障害を抱えた人達の筋肉の動き方は何が違うのか？を理解するために、さまざまな動きを行った時の筋活動を測定して、考えていきましょう。		
	担当	講師 橋口 優 【専門】神経生理学	形式	講義、体験
P-19 リ	講義名	人はなぜ乗り物酔いやVR酔いをしてしまうのか？		
	目的	乗り物酔いやVR酔いの原因とその対応策を理解しましょう。		
	概要	人によって乗り物酔いしやすい人、しにくい人がいます。この酔いやすさには視覚・前庭覚・体性感覚という3つの感覚が影響しています。この3つの感覚の違いによる体への影響を講義・実技を通して説明します。		
	担当	講師 加茂 智彦 【専門】前庭理学療法学	形式	講義、体験
O-2 リ	講義名	個人の幸せの追求は持続可能な社会を創る		
	目的	私たち個々人が、個人の幸せを大切にするために、私たちを取り巻く社会に、環境に働きかける重要性をお話します。		
	概要	持続可能開発目標（SDGs）は2030年までの目標として採択されたものであり、誰も取り残さないという理念です。作業療法学は人々が健康で幸福に生きるための支援ができるという強さを持っています。人間らしく生きる権利を守るために、個々人が望む形で生きるために環境に働きかける作業療法の理論と応用を解説します。		
	担当	教授 村田 和香 【専門】作業療法学	形式	講義
O-3 リ	講義名	作業療法を哲学的に見ると		
	目的	「作業療法の哲学」という論文を発表した精神科医「A マイヤー」が示した作業療法の考えを日本の哲学者「西田幾多郎」に即して解説します。		
	概要	わが国の作業療法はアメリカの作業療法の影響を受けています。その中でも精神科医「A マイヤー」は「作業療法の哲学(The philosophy of Occupation)」を著し、創設期の作業療法を支えたとされています。本講義ではこの論文のキーワードともいうべきリアリティとアクチュアリティを読み解くことによって、作業療法とは何かについてお話します。		
	担当	教授 石井 良和 【専門】精神作業療法学	形式	講義
O-4 リ	講義名	認知症の人にやさしい町づくりー忘れるって、どういうことー		
	目的	作業療法の見方を使って、認知症の人と家族を支える方法を考えましょう。		
	概要	認知症のこと、分かっているようで知らないことが多いかもしれません。認知症の方がより良く生きること、それを支えるためには、どのように考えるとよいのでしょうか。現在、認知症の方と、その方々を支える家族が急増しています。みんなで支えるために、認知症のこと、一緒に考えてみましょう。		
	担当	教授 竹原 敦 【専門】作業療法学、老年期作業療法学	形式	講義
O-5 リ	講義名	人はなぜ遊ばずにはいられないのか？		
	目的	遊びが人にもたらす効果を科学的に分析します。子どもの遊びと大人の遊びの違い、ライフステージに沿って変化する遊びを考えます。		
	概要	人は生まれてから亡くなるまで遊び続けます。いくつになっても遊びには夢中になります。なぜ人は遊ばずにはいられないのでしょうか？遊ぶことの大切さを知ると、毎日により一層楽しくなると思います。		
	担当	准教授 宮寺 寛子 【専門】生活科学	形式	講義
O-6 リ	講義名	働くことを支援するには		
	目的	障害を持つ方の働き方には、どのような方法と支援があるのかをお話します。		
	概要	障害を持つことになっても自分が希望する仕事に従事し幸せに生活をしていくためには、どのように考え支援すれば良いかについてお話します。		
	担当	准教授 馬場 順子 【専門】障害者就労支援、地域作業療法	形式	講義
O-7 リ	講義名	カラダを上手に動かすコツについて感覚統合の視点から考えてみましょう！		
	目的	作業療法の手段の1つに感覚統合理論があります。その理論を通して自分の体のクセについて体験しながら発見してみましょう。		
	概要	発達領域の作業療法で用いる感覚統合理論について学びます。遊具や触って楽しいおもちゃの体験や運動が得意な人・苦手な人のその理由について探ってみましょう。		
	担当	准教授 吉岡 和哉 【専門】発達領域の作業療法、特別支援教育	形式	講義、体験

S-3 	講義名	人だけが、ことばを話し、料理をするのはなぜか？		
	目的	ことばを話すのも、料理をするのも人間だけなのはなぜ？その秘密を知ることが、ことばのリハビリテーションの入り口です。		
	概要	人間だけが、ことばを話し料理をします。他の動物にこれらができないのには理由があります。一方、その理由のせいで、人間はことばや食べることの障害がある場合があるのです。そして、残念ながらこれらの障害がある方々のリハビリテーションは、この理由をしっかりと理解して行わないと成果があがりません。体験を交えて一緒に考えましょう。		
	担当	教授 白坂 康俊 【専門】発声発語障害、摂食嚥下障害、言語学	形式	講義、体験
S-4 	講義名	解剖学的に靈魂を考える 一身近に起こった不思議な出来事を解剖学的に考察一		
	目的	靈魂というものを解剖学的に考察し、科学的思考法を身に付けましょう。		
	概要	身近に起こった不思議な出来事を提示し、解剖学的に考察します。靈魂を見る、感じるということ、自分が死んで靈魂になった場合を想定し、それぞれを解剖学的に考えましょう。		
	担当	教授 浅見 知市郎 【専門】解剖学	形式	講義
S-5 	講義名	顕微鏡で見る人体の神秘		
	目的	光学顕微鏡でヒトの臓器・器官を観察するとどのように見えるか知りましょう。		
	概要	人の身体はたくさんの臓器・器官からできています。人体を構成する臓器の中からいくつか解説し、それぞれが光学顕微鏡で観察するとどのように見えるのか提示します。		
	担当	教授 浅見 知市郎 【専門】解剖学	形式	講義
S-6 	講義名	ヒトの表情ってどうやってできるの？ 一表情は筋肉がおこす運動である一		
	目的	表情というものがどのようなものか知りましょう。		
	概要	表情は顔面筋と呼ばれる筋群によって起こります。これら顔面筋について解説し、表情をつくるということが、実はストレッチなどが可能な運動であるということを知ってもらいます。		
	担当	教授 浅見 知市郎 【専門】解剖学	形式	講義
S-7 	講義名	簡単に覗ける内臓・・・口の中		
	目的	口の中は簡単に覗ける内臓であるということを理解しましょう。		
	概要	口の中には歯、舌、唾液腺、扁桃などさまざまな器官があります。これらの特徴・構造や簡単な観察方法について解説し、口の中の健康に興味を持ってもらいたと思います。		
	担当	教授 浅見 知市郎 【専門】解剖学	形式	講義
S-8 	講義名	耳が2つある理由って何だろう？		
	目的	難聴のある世界をご紹介します。聴覚のもつ機能について考えていきます。		
	概要	なぜ耳は2つあるのでしょうか？耳が1つだけだとどうなるのでしょうか？耳が2つあることによる効果はさまざまあります。単に音を聞くだけではない耳の機能。難聴の世界を紐解きながら、耳が2つある理由、聴覚のもつ機能について考えてみたいと思います。		
	担当	准教授 岡野 由実 【専門】言語聴覚療法、聴覚障害、聴覚心理学	形式	講義
S-9 	講義名	ヒトはどこまで動物か		
	目的	動物としてのヒトの特徴を考えます。特にヒト以外の霊長類とヒトの類似点と相違点や、ヒトの進化史に注目して比較しながら考えます。		
	概要	ヒトはまるで他の動物とは一線を画す生き物のように振る舞っています。しかし、本当にヒトは特別なのでしょうか。類人猿やサルなどのヒトの親類との比較などから、動物としてのヒトの特徴を考えます。そうすると、ヒトは決して特別な生き物ではなく、他の生物と同じ進化原理にしたがって生じた動物であることがわかってきます。その点から改めてヒトのことを考えてみると興味深いと思います。		
	担当	講師 後藤 遼佑 【専門】生物人類学	形式	講義
S-10 	講義名	どうしておはなしできないの？		
	目的	お子さんのことばの発達について学びます。子どもの言語発達を促進するもしくは阻害する要因について考えてみましょう。		
	概要	お子さんたちはどうして、当たり前のように「ことば」を獲得していくのでしょうか？また、「ことばが遅い」「おはなしがうまくできない」お子さんたちは何につまずいているのでしょうか？子どもの言葉やコミュニケーションの発達とその支援について学びましょう。		
	担当	講師 遠藤 俊介 【専門】言語発達学、言語発達障害学	形式	講義、体験

M-4 	講義名	基準範囲って何だろう？		
	目的	健康診断などで行われる血液生化学検査の基準範囲とは何か、簡単に解説します。		
	概要	健康診断などで採血された際、自分の検査結果と基準範囲が提示されています。代表的な生化学検査を中心に基準範囲の意味および疾患との関係を簡単に解説します。		
	担当	教授 松下 誠 【専門】 臨床化学検査学	形式	講義
M-5 	講義名	健康食品って何だろう？		
	目的	健康食品の正しい使い方を学びましょう。		
	概要	サプリメントとして多くの健康食品が販売され手軽に食品として購入することができます。しかし、食品と言いながら、実際には薬物と同じ成分が微量ですが含まれております。そのため、多量に服用すると身体には害となることがあります。正しい摂取方法を解説したいと思います。		
	担当	教授 亀子 光明 【専門】 病態生化学	形式	講義
M-6 	講義名	心臓の機能とその検査法		
	目的	心臓がどのようにして動いているのか、その検査法にはどのようなものがあるのかについて学びましょう。		
	概要	心臓には興奮性、伝導性、自動性、収縮性と4つの機能があります。その機能について詳しく説明します。また、病気になった時、どのような検査法があり、どのようにして検査値が動いているのか説明します。		
	担当	教授 古田島 伸雄 【専門】 生理機能検査学	形式	講義
M-7 	講義名	免疫薬理学－有機化学と免疫制御薬－		
	目的	高校化学で学ぶ有機化学の知識を踏まえて免疫力を制御する薬の仕組みを学びましょう。		
	概要	解熱剤やステロイド剤などは、人体の免疫システムを制御する薬です。本講義では、薬学に興味をもつ方を対象に免疫制御剤の仕組みを、高校化学にもとづいてわかりやすく説明します。		
	担当	准教授 高橋 克典 【専門】 病態免疫化学検査学	形式	講義
M-8 	講義名	意外と知らない血液型と輸血の話		
	目的	なぜ血液型という分類があるの？その必要性や重要性、さらには“黄金の血液型”と呼ばれる血液型まで、知っていそうで意外と知らない血液型について学びましょう。		
	概要	1.血液型を決めているのは何か？ 2.ABO以外の血液型って？ 3.輸血に必要な検査って何だろう？ 4.輸血で血液型が変わる？ 5.輸血が必要かを決めるのは医師。輸血できるかを決めるのは「臨床検査技師」って知ってた？		
	担当	准教授 林 由里子 【専門】 輸血検査学	形式	講義
M-9 	講義名	一滴の血液から病気の目印を探す－バイオマーカー探索研究の最前線－		
	目的	病気の早期発見などに役立つ新しいバイオマーカーを開発するために、どのような研究が行われているかについて学びましょう。		
	概要	ごく微量の血液から一度に数千種ものタンパク質を検出できる「質量分析計」を用いて、疾患の早期発見を可能とする、新たなバイオマーカー候補分子の探索が盛んに進められています。これらの研究について、最新の事例を交えながら解説します。		
	担当	准教授 木村 鮎子 【専門】 病態医化学	形式	講義
M-10 	講義名	生化学入門		
	目的	生命や病気のしくみを分子レベルで理解する「生化学」について学びましょう。		
	概要	複雑な生命現象や病気のメカニズムを理解する上で「生化学」は欠かすことのできない科目の一つであり、大学で学ぶ生化学は、高校で習う生物・化学の知識がベースとなっています。本講義では、知っているようで知らない食べ物と体の話など身近な例を交えながら、生化学の講義内容の一部を分かりやすく解説します。		
	担当	准教授 木村 鮎子 【専門】 病態医化学	形式	講義
M-11 	講義名	プロテオーム解析って何だろう？		
	目的	生体中の全てのタンパク質を調べる「プロテオーム解析」の原理と応用について学びましょう。		
	概要	タンパク質は体を作るとともに、代謝や免疫などあらゆる生体機能に欠かせない重要な物質です。本講義では、タンパク質を網羅的に調べる「質量分析」や「電気泳動」などのプロテオーム解析技術を用いた、病気に関わるさまざまなタンパク質の研究例について分かりやすくお話しします。		
	担当	准教授 木村 鮎子 【専門】 病態医化学	形式	講義

M-12 	講義名	受精の仕組み		
	目的	生命体の最初である受精を中心に学びましょう。		
	概要	精子や卵子のできる仕組みや受精について、減数分裂や受精におけるハードルについて紹介します。		
	担当	准教授 荒木 泰行 【専門】生殖補助医療技術学	形式	講義
M-13 	講義名	生殖補助医療とは？		
	目的	不妊治療に代表される体外受精等の技術について学びましょう。		
	概要	少しの不具合で受精が上手くいかず、不妊になることも少なくありません。これらを治療する分野を生殖補助医療といいます。とりわけ体外受精についての基礎的な知識を紹介します。		
	担当	准教授 荒木 泰行 【専門】生殖補助医療技術学	形式	講義
M-14 	講義名	忍び寄る糖尿病		
	目的	糖尿病と食事の関係について学びましょう。		
	概要	生活習慣病の一つである糖尿病は、日本人にとって実は身近でひとつごとではない病気です。普段の食生活と大きく関係している糖尿病について学んでいきましょう。		
	担当	講師 石垣 宏尚 【専門】内分泌検査学	形式	講義
M-15 	講義名	脂質とは何だろう？		
	目的	脂質の種類や役割について学びましょう。		
	概要	私たちのからだを構成する「脂質」には多くの種類があり、それぞれが生命の維持に欠かせない役割を果たしています。脂質のはたらきや、食事・病気との関係性について詳しく解説します。		
	担当	講師 三浦 佑介 【専門】分析化学、脂質代謝学	形式	講義
R-7 	講義名	放射性物質を使った検査って大丈夫なの？		
	目的	病院で行っている放射線検査の一つである放射性物質を使った核医学検査の有用性や安全性を学びましょう。		
	概要	放射性物質は福島原発事故などによって人体に悪影響を及ぼすものと理解している方も多いと思います。しかし、放射性物質は使い方によっては認知症の早期発見やがんの治療に役立っていることを紹介します。この講義を経て有害とされる物質の安全と非安全の違いに対する考え方について学んでいただきます。また、診療放射線技師の仕事を学ぶこともできます。		
	担当	教授 渡邊 浩 【専門】核医学、放射線防護	形式	講義
R-8 	講義名	光学活性医薬品とは何か？		
	目的	現代の医薬品種の傾向と開発手法の最先端を学びましょう。		
	概要	現代の医薬品はその分子構造が複雑化しています。特に光学活性（鏡像）異性体が重要視され、各医薬品メーカーはそれらの製法開発に凌ぎを削っています。ここでは、その開発物語を紹介します。		
	担当	教授 酒井 健一 【専門】化学	形式	講義
R-9 	講義名	化学を科学する！！		
	目的	医薬品製造法開発における化学とそれを支える科学的なアプローチを学びましょう。		
	概要	近代医薬品には立体化学的なアプローチが重要であり、化学的だけでなく科学的な角度から解析しつつ製法を完成していった生の開発ストーリーを紹介します。		
	担当	教授 酒井 健一 【専門】化学	形式	講義
R-10 	講義名	胃のX線（バリウム）検査を学ぶ		
	目的	撮影の原理や手技を理解して、診療放射線技師とともに“きれいな画像”を作りましょう。		
	概要	健康診断や人間ドックで実施されている胃のバリウム検査。独特の食感と風味を持ったバリウムを一気に飲み込みます。検査中は右を向いて、左を向いて…、頭が下がる逆傾斜の状態で息を止めます。検査の終わりには何故か下剤を渡されます。これにはすべて意味や目的があります。自身の経験を踏まえて1つ1つを丁寧に解説していきます。		
	担当	教授 西澤 徹 【専門】放射線科学、診療放射線技師教育	形式	講義

R-11 	講義名	MRI・CT検査		
	目的	MRI（磁気共鳴撮像）やX線CTの撮像原理をやさしく説明します。		
	概要	医療画像診断でよく使われるMRI（磁気共鳴撮像）やX線CT（コンピュータトモグラフィー）検査について、検査技術の発展の歴史から現在の検査装置の仕組みまでをていねいに紹介します。かんたんな物理の数式や原理・現象の説明に加え、実際の写真や画像も紹介します。高校で学ぶ物理が、実際に医療の先端技術とつながっていることを感じることができます。		
	担当	教授 高橋 哲彦 【専門】 診療放射線機器学、医用工学、磁気共鳴撮像機器学	形式	講義
R-12 	講義名	世界に誇る日本の医用画像の技術		
	目的	CTなど今や医療の中で欠かすことのできない画像診断機器に焦点を当て、日本の技術力の高さについて理解を深めましょう。		
	概要	X線CT装置を創る国は世界中で多くはありません。CTの設置台数が世界一（対人口当たり）の日本の現状、日本のどこで作られるのか、どんな構造なのかを解説します。		
	担当	准教授 加藤 英樹 【専門】 医用画像情報学、放射線技術科学	形式	講義
R-13 	講義名	医療で生きる物理学		
	目的	医療と物理学の関連について事例を挙げながら紹介しつつ、医療職を目指す学生の将来設計に寄与することが目的です。		
	概要	自然現象を数式で書き現すのが物理学の基本的な目標です。特に医療の中では、多くの場面で物理学が応用されています。本レクチャーでは、「医療で生きる物理学」を紹介しながら高校で学んでいる物理学がどのように私たちの生活に役立っているかを学びます。		
	担当	講師 山崎 真 【専門】 医学物理学	形式	講義
C-8 	講義名	感染症の基礎知識と予防法（インフルエンザやノロウイルス感染症など）		
	目的	感染症の知識・技術などを理解しましょう。		
	概要	感染症の基礎知識と予防法に関する講演を行います。		
	担当	教授 木村 博一 【専門】 微生物学、感染症学、生体防御学	形式	講義
C-9 	講義名	わかりやすい感染症の原因解析法		
	目的	感染症の原因解析法の知識・技術などを理解しましょう。		
	概要	感染症の原因解析法についてわかりやすく解説します。		
	担当	教授 木村 博一 【専門】 微生物学、感染症学、生体防御学	形式	講義
C-10 	講義名	PCR検査とは？		
	目的	新型コロナウイルス感染症の検査について理解しましょう。		
	概要	新型コロナウイルス感染症の検査について解説します。話題のPCR検査から抗体検査など…他のウイルスの例も挙げながら説明していきます。		
	担当	教授 木村 博一 【専門】 微生物学、感染症学、生体防御学	形式	講義
C-11 	講義名	三次元培養技術とその応用		
	目的	本講義では、三次元培養技術の歴史を紐解き、臨床工学分野での応用可能性を考察しましょう。		
	概要	近年、オルガノイドやスフェロイドといった立体的に細胞を培養する技術に注目が集まっています。本講義では、三次元培養技術の歴史を紐解き、人工臓器などへの応用など臨床工学分野における発展について未来志向で考察します。		
	担当	准教授 花田 三四郎 【専門】 血管生物学、生物化学工学	形式	講義
C-12 	講義名	医療機器の研究開発と臨床工学		
	目的	医療機器の性能や安全性の向上に、臨床工学で学ぶ知識も不可欠であることを理解しましょう。		
	概要	臨床工学で学ぶ電気工学や電磁気学などを基盤とした、医療機器の性能や安全性の向上を目的とした研究開発の事例を解説します。		
	担当	准教授 松岡 雄一郎 【専門】 電気工学、電磁気学	形式	講義

C-13 医	講義名	血液をキレイにする医療技術		
	目的	医学と工学の発展により、さまざまな疾患の治療を可能にした技術を知りましょう。		
	概要	血液を浄化する治療法に焦点をあて、血液浄化とは何か、血液浄化が必要な疾患や治療原理、最新の治療技術について解説します。		
	担当	准教授 近土 真由美 【専門】 生体機能代行技術学	形式	講義
C-14 医	講義名	命をつなぐ人工呼吸器		
	目的	人工呼吸器のしくみ、目的と役割を知りましょう。		
	概要	人工呼吸器が必要となる状況や疾患、人工呼吸器の目的・役割について解説します。		
	担当	准教授 近土 真由美 【専門】 生体機能代行技術学	形式	講義
K-3 教	講義名	医療系大学の学び入門		
	目的	医療専門職を養成する大学の特長を理解する。		
	概要	医療系大学は、人として患者や家族の心に寄り添った対応ができる人間性や高度最先端医療の知識・技術を学ぶとともに、国家資格に合格し資格を取得するといった大きな目的があります。医療系大学で求められる能力を、①学ぶスキル、②書くスキル、③調べるスキル、④生きるスキルとして位置づけ、大学生に必要な学修について紹介します。		
	担当	教授 星野 修平 【専門】 データサイエンス	形式	講義
K-4 教	講義名	AI・データサイエンスと医療		
	目的	近年注目されているデータサイエンスやAI技術が医療の中でどのように注目されているかを理解する。		
	概要	インターネット（Web、SNS、E-mailなど）で流通する医療情報には有益な情報もあるが、信頼性の低い偽情報や虚偽の内容が含まれます。特に健康情報は人々の生活に直接影響を及ぼすため、誤った認識は重大な影響を及ぼします。医療情報、健康情報に関するインターネットの光と影について説明し、更にインターネット情報を用いた人工知能技術（AI）、生成系AIの活用などについて解説します。		
	担当	教授 星野 修平 【専門】 データサイエンス	形式	講義
K-5 教	講義名	英語でのプレゼンテーションスキルを磨きましょう！		
	目的	英語で効果的なプレゼンテーションを行うために、必要なスキルを学びましょう。		
	概要	英語でプレゼンテーションを行わなければならない際は、どうすればいいでしょうか。ここでは、決まり文句などの表現から仕草などのボディランゲージまで、必要なスキルを網羅します。		
	担当	准教授 アンドリュース・デビッド 【専門】 英語全般、翻訳・通訳	形式	講義、体験、グループワーク
K-6 教	講義名	人間である胎児と中絶問題		
	目的	胎児が人間であるとみなす場合においても、中絶は許されるのかについて考えます。		
	概要	胎児を人間とみなすことができるのかについて考えると、医学的、哲学的に統一的な見解が見つからない可能性があります。ここでは、胎児を意識機能をもつ私たちと同じ人間であるとみなす場合においても、中絶が許される議論を思考実験を踏まえて紹介したいと思います。		
	担当	准教授 峯村 優一 【専門】 倫理学、哲学	形式	講義、グループワーク
K-7 教	講義名	病院で使う英語表現を覚えて使ってみよう		
	目的	海外で自分が病気になった時、また海外から日本を訪れている人が病気になった時に役立つ英語表現を覚えて使ってみましょう。		
	概要	大学では国際交流プログラムなどで海外に行く機会が多く用意されています。また、大学生になると個人で海外旅行をすることもあるでしょう。自分が海外で病気になった時のことを想像してみてください。きっと不安に違いありません。そしてそれは海外から日本を訪れている方々も同じです。自分が病気になった時や訪日外国人の方が病気の時に役に立つ、病院で使用される英語表現を覚え、ペアワークやグループワークで理解を深めましょう。		
	担当	講師 徳永 慎也 【専門】 アメリカ文学、アメリカ研究	形式	講義、グループワーク